



## ○平成 30 年度 県政 150 周年記念事業活動報告会(2 月 7 日(木) 午後)

平成 30 年は、兵庫県が成立してから 150 周年にあたります。この節目の年を迎えるにあたり、兵庫県では、県民一人ひとりがこれまでの歴史を振り返るとともに、兵庫の未来を考える機会として、「県政 150 周年記念事業」を実施しています。そのなかで、県内の全県立高校が「県立高校で考える県政 150 周年記念事業」に昨年から 2 年間取り組んでいます。本校は、以前から地域の方々と一緒に公園の清掃や夏祭りなど地域貢献活動に積極的に取り組んできました。昨年はその発表会を行いました。日頃から、地域の方からは「高塚生はよく手伝ってくれてとても助かっている。頼りにしている。」と仰っていただいております、さらに「今後は、高校生らしい柔軟な発想でイベントの企画から参加してもらえないか？」と依頼を受けました。今年度は、1・2年の特色生が「リーダー総合」で、2・3年の「ボランティア実践」の授業でその課題に取り組んでくれました。報告会では、その成果を発表しました。その中には、地域が活性化するためのさまざまな提案がありました。ぜひ、積極的に参加してください。

当日は、兵庫県企画県民部ビジョン局ビジョン課から 3 名、国際ソロプチミスト神戸西から 4 名、神戸西区役所まちづくり課から 2 名、西神工業会から平松事務局長、学校評議員の三好様など多数の来賓に来ていただきました。

場所 本校体育館

内容 司会 若松 茉生(2-5)

### 1 記念講話 「 考えてみよう 2030 の未来と地域 」

兵庫県企画県民部ビジョン局ビジョン課 主査 藤井 友也 氏

### 2 活動報告

- (1) 「地域貢献活動の可能性」 笠江 百華(1-3)、岡坂 恵佑(1-4)
- (2) 「これからの地域貢献活動について」
  - ①「昔遊び」 金永 侑大(2-4)、杉村 倫(2-4)、柳原 奏(2-4)
  - ②「科学の祭典」 中山 紗綺(2-1)、西脇 夏生(2-1)
- (3) 「ボランティア I 実践報告」 松本 倫太郎(2-3)、山元 美奈(2-3)、占部 颯真(2-2)
- (4) 「ボランティア II 実践報告」 加藤 紅音(3-3)、川上 侑樹(3-3)、土佐 みなみ(3-3)  
林 真央(3-5)、劉 貴史(3-5)



3 年生からは、「私たちは、異世代と関わること。相手が求めること相手の立場になって考えること。前もって準備をすることを大切に、「創意工夫」に取り組んできました。これからはさらに発展させていってください」と後輩へ力強いメッセージが送られました。講評では、藤井様から「イベントを行う際に安全確保という課題をしっかりと持っていることがすばらしい。壁はあるもの。それをどう乗り越えていくかが大事。小さな壁を次々に乗り越えていくと結果として、大きな壁になり、大きな変化となる。今の取組を続けてください。」とエールをいただきました。